

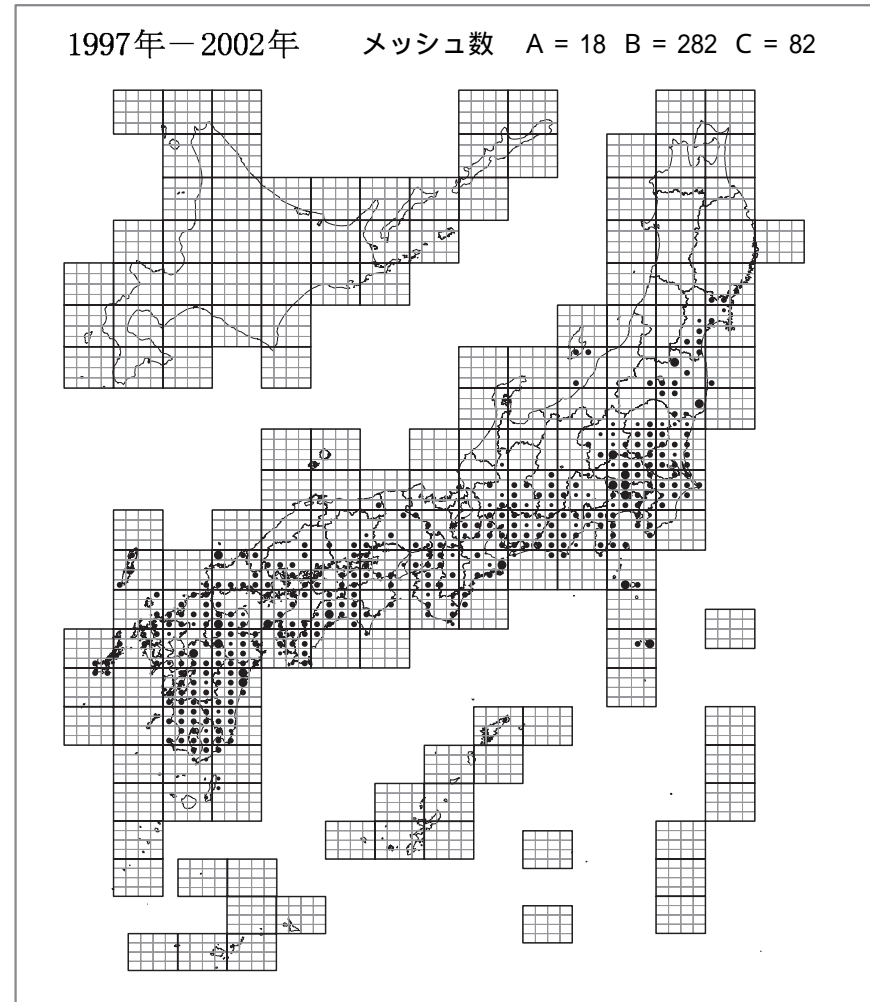
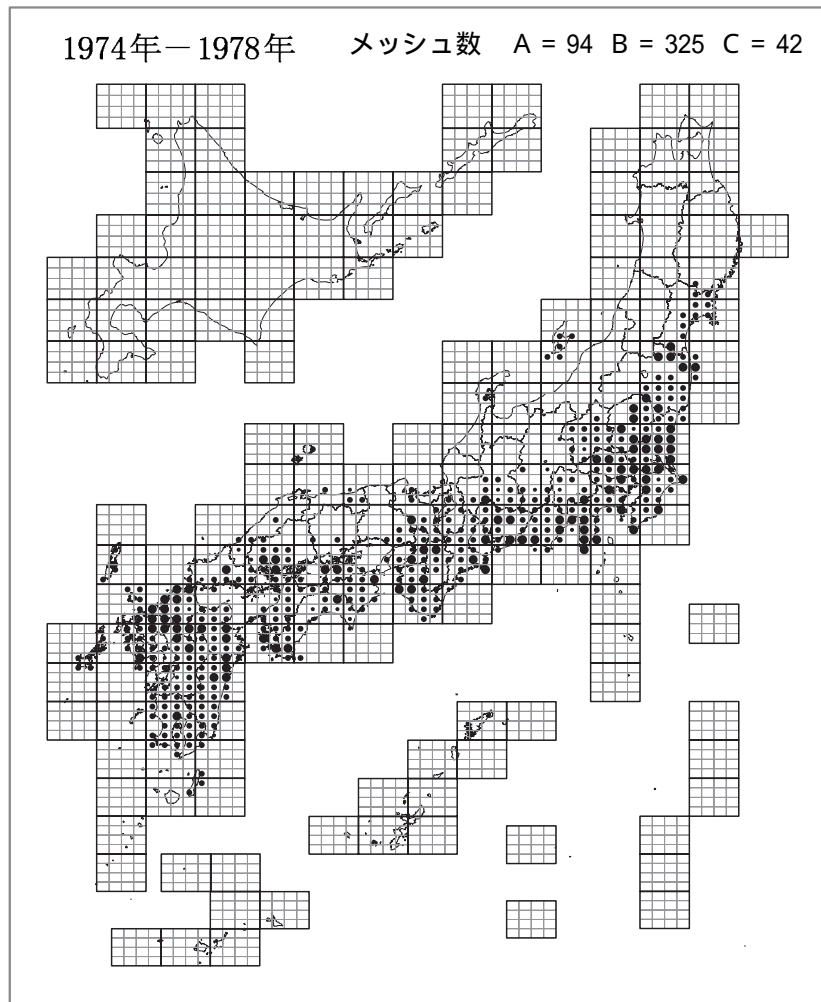
# コジュケイ (外来種)

(分類) キジ目キジ科 *Bambusicola thoracica*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州から九州の積雪のない地域で留鳥。中国南部原産。1919年以降移入されて、定着。

(生態) 下敷の茂った落葉広葉樹林にすみ、5～6月に地上に営巣する。7～8卵を18日前後抱卵し、ふ化後ヒナはすぐ巣から離れ、親鳥と共に林床で採食して歩き回る。種子、木の実、昆虫やクモなどを食べる。



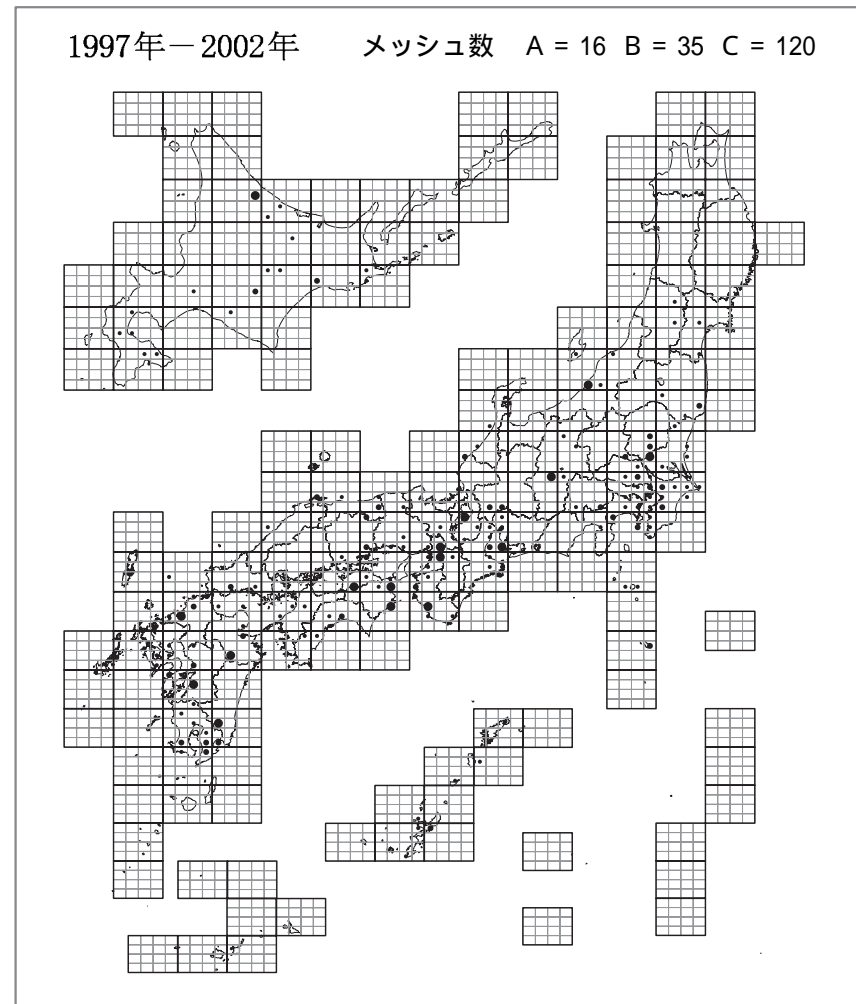
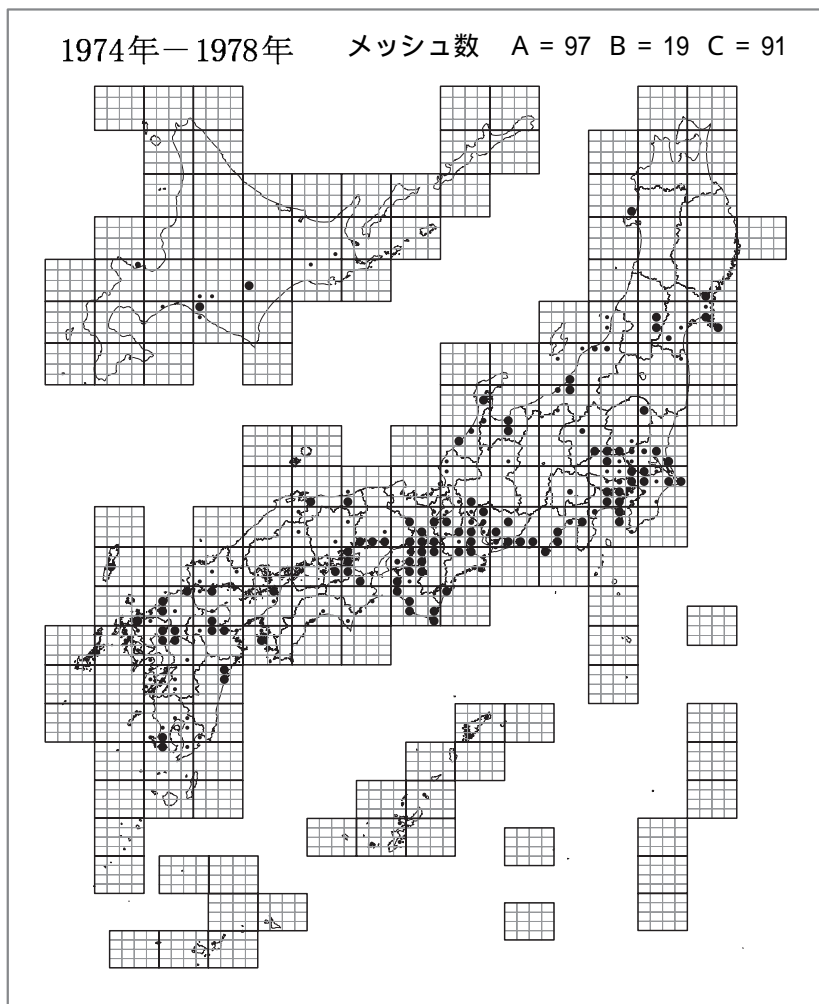
# ドバト (外来種)

(分類) ハト目ハト科 *Columba livia*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 日本全国で留鳥。ユーラシア原産。

(生態) 神社や公園などの開けた草原、荒地などで採食し、人工物の棚などで営巣する。2卵を産む。大豆やトウモロコシ、人の与えるパンなどを食べる。



# セキセイインコ (外来種)

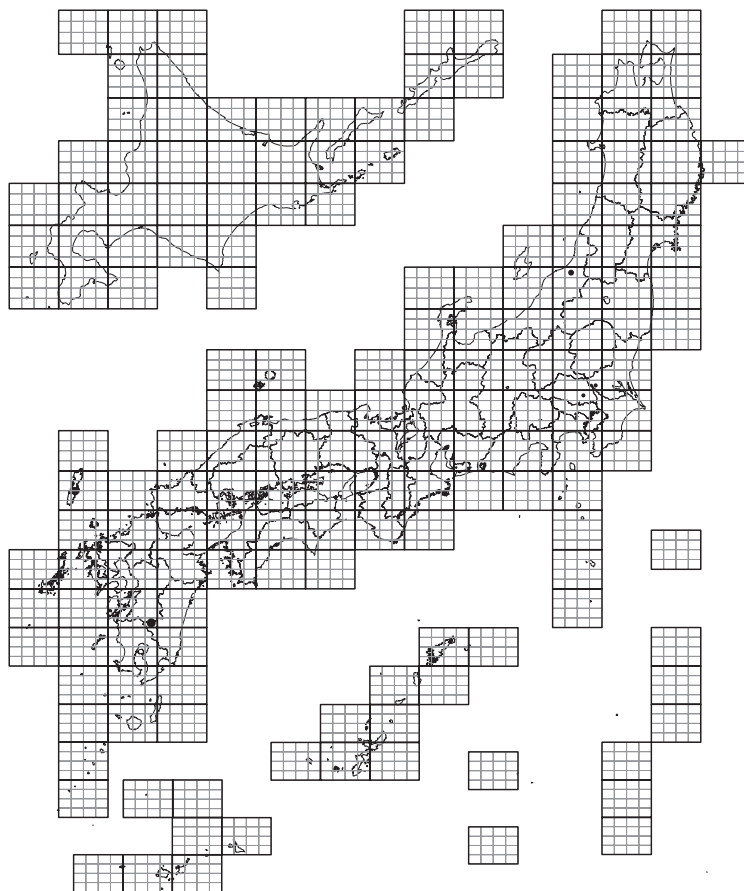
(分類) インコ目インコ科 *Melopsittacus undulatus*

(環境省 RDB 種) -

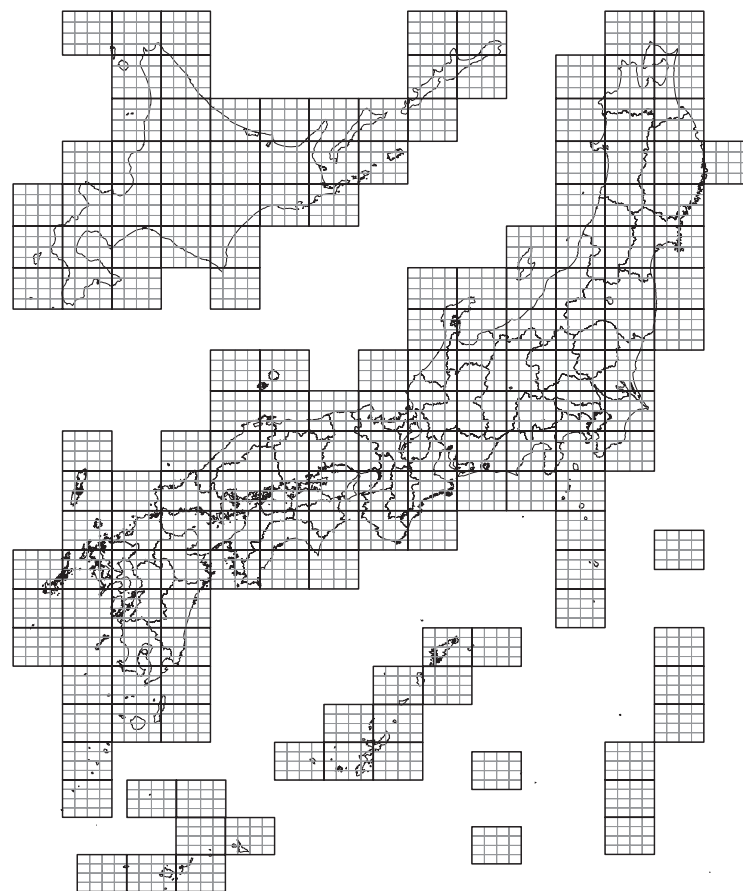
(分布) 本州中・南西部に定着。オーストラリア原産。

(生態) 草原や水域に近い樹林にすむ。原産地では雨季になると樹洞に営巣する。4～6卵を雌が前後18日抱卵後、約30日で巣立つ。地上や低い場所でおもに草本の種子を食べる。飼い鳥として広く普及している。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 1   B = 1   C = 2



1997年－2002年    メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 0



## ホンセイインコ (外来種)

(分類) インコ目インコ科 *Psittacula krameri*

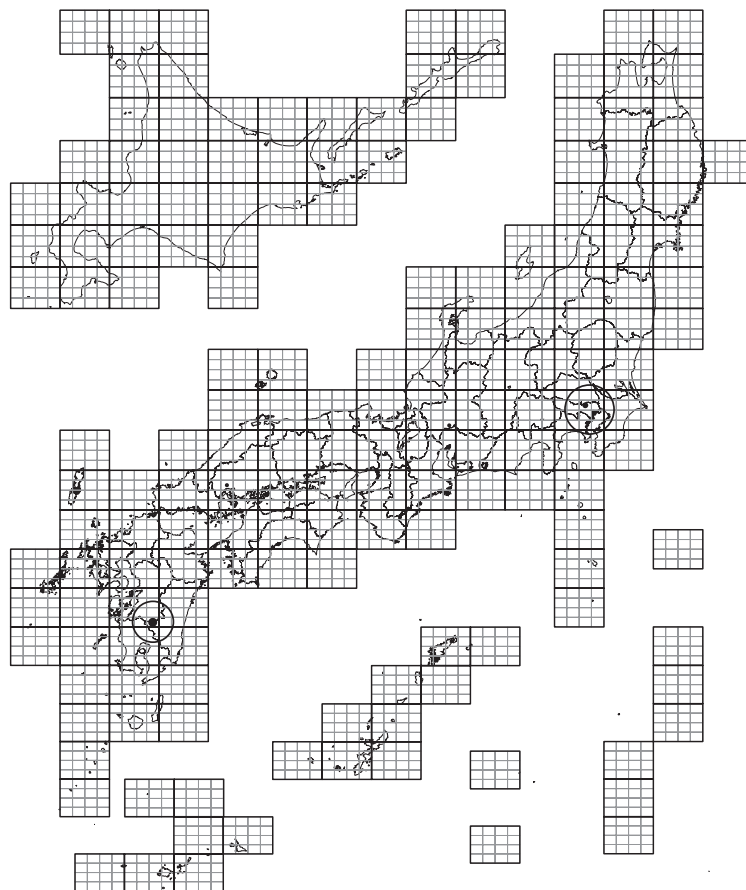
(環境省 RDB 種) -

(分布) 東京の山の手地区など樹林の多い住宅地に定着。アフリカからアジア南部原産。

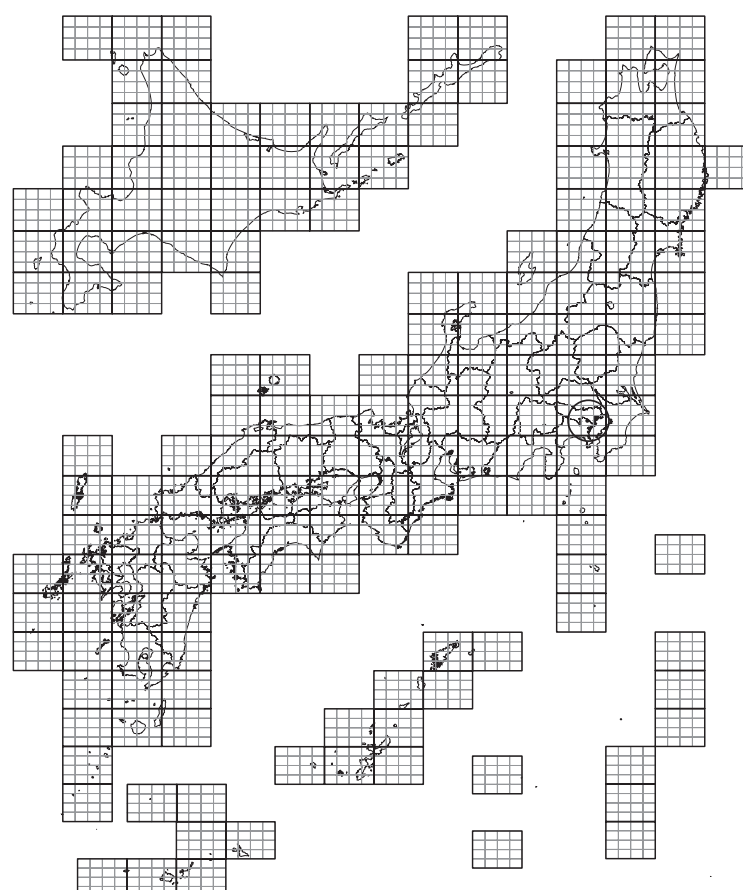
(生態) 疎林から草原まで、多様な環境にすむ。春、樹洞に営巣する。4～5卵を雌が23日前後抱卵し、約50日で巣立つ。植物食で、果実、穀物、樹木の花、芽などを食べる。大木に集団ねぐらをとる。

(参考事項) 第2回調査時にはホンセイインコ(種)をワカケホンセイインコ(亜種)として調査した。

1974年—1978年   メッシュ数   A = 1   B = 1   C = 2



1997年—2002年   メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 1



# オキナインコ (外来種)

(分類) オウム目インコ科 *Myiopsitta monachus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 南米原産。

(生態) 森林や草原、人家の近くなどにすむ。樹枝上に枯れ枝を積み上げて営巣する。

